

地域自慢

未来へつなぐ！ 「地」 「自」 「人」

水戸市立城東小学校 5年

<調べようとした理由>

城東小学校には、創立 137 年という歴史がある。私たちの生活の中には、「伝統的な行事」や、「新しく始められた行事」があり、学校生活を豊かなものにしてきている。そこで、地域にある自然や人とのかかわりを調べてみることにした。

<サケの放流>

本校は、那珂川沿いに建っている。「那珂川の自然環境を守ろう」という取組から、1995年に第1回目の放流が行われた。毎年11月に、『那珂川漁協組合』に行き、約5000個の卵を頂いてきている。全校で大切に育てて、稚魚が5cm位の大きさのなった3月に、みんなで那珂川の土手から放流している。また、5年生は、サケに関連した競技を、運動会等の種目に取り入れ楽しんでいる。

<水府流を学ぶ会>

『水府流』とは、烈公が、急流を速く安全に泳ぐための泳法として水戸藩の武士に伝えたものである。水府流には、9種類以上もの泳ぎがある。その中の『ひとえのし泳ぎ』は、疲れず長く泳げる泳法である。本校では、昔は、近くの那珂川で練習していた。今は、1学期に、4~6年生が指導を受け、夏休みには、希望者を対象に講習会が開かれ、伝統を受け継いでいる。



サケの放流



ふれあい祭り



水府流



運動会ダンス【城東よさこい連】

<調査のねらいや方法>

- ◎行事の目的や継続されている理由を調べ、地域にある「人・もの・こと」のよさを知る。
- 地域の人にインタビュー
- 学校沿革誌
- 写真・資料・インターネット

<ふれあい祭り>

本年度で14回目を迎えた「ふれあい祭り」は、お祭りの少ない本校の子どもたちが、いっしょに楽しめるお祭りを作りたい・地域に住んでいる人たちみんなが参加できるお祭りにしたい・大きくなって思い出に残り、またお祭りに参加したいというようなお祭りにしたいという思いから計画された。地域の人やOB会の人たちから寄付金を集めたり、色々な所と交渉したり大変だったが、温かい理解をもらい始めることができた。PTAが中心となり、地域が一体となったお祭りになっている。

<運動会ダンス【城東よさこい連】>

6年前から、運動会の高学年のダンスは、「よさこい」をアレンジしたものが発表されてきている。今年は、隣の幼稚園にもダンスを通して交流の場が広がった。『城東よさこい連』という団体も、昨年の公民館のサマースクールから、城東自治団体スポーツクラブの協力のもと始まり、現在40人のメンバーと広がっている。

<まとめ> 古くから伝わっているものや、新しく取り入れたもののよさを認めながら、地域の発展のため、地域の未来のために、形を変えながら受け継がれている。